

会派：創進

令和5年度当初予算編成要望書

会派	創	進	
	宮	田	雄 一
	大	橋	芳 久
	坪	田	光 治

令和4年10月4日

杉戸町長 窪 田 裕 之 様

杉戸町議会・議員 会派 創 進
宮 田 雄 一
大 橋 芳 久
坪 田 光 治

令和5年度当初予算編成要望書

日頃より調整運営にご尽力いただき、ありがとうございます。

さて、各議員の政策、そして普段の活動を通じて届いた町民の声をまとめましたので、「令和5年度当初予算編成要望書」として提出いたします。

ひとつでも多く実現していただきますよう、よろしくお取り計らいいただきますようお願いいたします。

なお、提出した要望事項については、別途今年度中に要望書を作成し提出する要望もありますことお含みおきをお願いいたします。

P,1 … 表 紙

P,2 … 表 書

P,3 … 要 望 一 覧

P,6 … 具体的要望

要望一覧

未来像1 まちぐるみで子育てに関わり応援できるまち〔子育て〕に関連して

- (1) 木造遊具やアスレチックなど子どもが親しみを持てる公園づくりを
- (2) 屋内で遊べる子育て支援施設を
- (3) 通称汽車公園の汽車の塗装を
- (4) 学校給食費の上乗せ補助を

未来像2 子どもたちに未来を拓く力を育むまち〔学校教育〕に関連して

- (5) 学習支援について民間事業者の協力を
- (6) 金融教育の導入を
- (7) 学校トイレの洋式化を
- (8) 学校校庭の除草を

未来像3 生涯を通じて学び、強度に愛着を持てるまち〔社会教育〕に関連して

- (9) 自治会間の交流を
- (10) エコスポいずみの活用を
- (11) ボランティアの草刈り隊を
- (12) 泉小の古代住居の大規模補修を
- (13) 特に生涯学習の分野において杉戸高校との連携強化を
- (14) 武道館の設置を(柔道、空手、剣道等)
- (15) 郷土資料館の設置を(できれば新庁舎の中に)
- (16) 東中学校の今後の活用について

未来像4 自らの健康を守りながら安心して暮らせるまち [健康・福祉] に関連して

- (17) 子どもの数を増やす取り組みを
- (18) 福祉タクシー券の使い勝手を良くして欲しい
- (19) ケアラー条例の制定を
- (20) 東埼玉総合病院駐車場の増設を
- (21) 中核病院の誘致を具体的に明らかに
- (22) 健康マイレージの記念品のグレードアップを
- (23) 町内全域にシニアサロンを
- (24) 高齢者のゴミ出し問題の解決を
- (25) 移動販売車への補助（買い物難民対策を）
- (26) 新春マラソンの見直しを

未来像5 地域がつながり、安全で災害に強いまち [防災・交通・防犯] に関連して

- (27) みんなでつくるまちづくり支援金
- (28) 南地区の安全対策を
- (29) 町道Ⅱ級2号線の制限速度の厳守を
- (30) すぎとみちのこ保育園前交差点の安全向上策を
- (31) 反射鏡の設置を
- (32) 防犯灯の設置を
- (33) 大栄団地の雨水対策を
- (34) 町道804号線の安全対策を
- (35) 防犯カメラの設置を（特に西近隣公園）
- (36) 防災士の更なる確保と育成を
- (37) 各避難所マニュアルの早期作成を
- (38) ペット受け入れ可の避難所を
- (39) 空き家・空き地問題の解決を

未来像 6 魅力ある産業を育み、発信できるまち〔産業・情報発信〕に関連して

- (40) 移住・定住促進事業の拡大を
- (41) ふるさと納税
- (42) 開かれた流灯工房を
- (43) アグリパークゆめすぎと
- (44) オートキャンプ場、グランピング施設の設置（民間誘致含む）
- (45) 官民協力のもと、広域的な観光事業の推進（東武動物公園駅周辺、東武動物公園、うたの湯、アグリパーク等）

未来像 7 機能的で自然と調和した快適なまち〔都市基盤・環境〕に関連して

- (46) 杉戸高野台駅西口自転車駐輪場を時間貸駐車場に
- (47) 大膳堀ポケットパーク（杉戸小学校隣接地）の管理を
- (48) 南側用水（堤根地内－高野台地区）の整備を
- (49) 町道 240 号線一部道路舗装を
- (50) 障がい者支援施設「庄内」から県道 387 号線までの路面工事を
- (51) 町道 II 級 2 号線の改良工事を
- (52) 東埼玉総合病院アクセス道路へ標識を
- (53) フットサルコート・スケートボードエリアの駐車場整備を
- (54) 再生可能エネルギーの推進（庁内 LED 化、屋上太陽光発電、補助事業の拡大等）を
- (55) 電動機付自転車購入に対する補助を

未来像 8 信頼される行政運営を推進するまち〔行財政運営〕に関連して

- (56) 公共システム予約システムの改善を

その他 5 項目

計 61 項目

以下、要望ごとに具体的内容・説明

未来像 1 まちぐるみで子育てに関わり応援できるまち〔子育て〕に関連して

(1) 木造遊具やアスレチックなど子どもが親しみを持てる公園づくりを

倉松公園や西近隣公園など子ども用遊具が置かれているが、どれも金属製で温もりや親しみがある遊具とは言えない。発育面や情緒育成の面からも幼児や児童には木製遊具がふさわしいとされ人気もある。実際、春日部市の内牧公園や庄和総合公園などは特に休日に子連れで家族が集まってくる。親しみある、遊べる遊具は未来をつくる子どもたちにとっても、子育て支援を掲げる我が町にとっても欠かせないことであると考えます。

(2) 屋内で遊べる子育て支援施設を

屋外でもそうだが、屋内でも子どもが遊べる施設が町内には不足している。東京インテリアのキッズ広場も以前はにぎわっていて、それを目当てに家族連れで来るという光景もあったが、現在、コロナ禍により営業を中止している。たとえ有料であったとしてもそれがいまいちであれば人は集まる。また、それに付随して授乳する環境も整える必要があり、mamaro などの活用を求める。

(3) 通称汽車公園の塗装を

杉戸高野台駅西口にある汽車公園は、近くに保育園があることなどからも利用者が多く、使われなくなった汽車もおいてありシンボルとなっている。以前、商工会の青年部で塗装のし直しをしたいという申し出があったが、なぜか断ったという過去がある。塗装をし直し、公園のシンボルとしての位置づけが長く続くよう求める。

(4) 学校給食費の上乗せ補助を

近年、学校給食費に対する補助をする自治体が増えてきており、窪田町長も給食費の段階的無償化を公約としている。しかし、現在、食料品の高騰も続いており、給食費の上乗せ補助をして、おいしい給食を児童生徒に提供の方が食育という面からもよいと考える。ちなみに茨城県境町はふるさと納税を基として、月に1回給食に日立牛を提供しているという。給食費の上乗せ補助をすべきと考え、要望する。

未来像2 子どもたちに未来を拓く力を育むまち〔学校教育〕に関連して

(5) 学習支援について民間事業者の協力を

町長が掲げるトップクラスの学力を身に付けるというのを、基本的には公教育で達成すると答弁があったが、現在、教員の過酷な勤務が問題となっており、しかも大人数制である以上、公教育のみでの達成は不可能であると考え。すでに自治体によっては学習に対する援助をしており、公約を達成するのであれば、当町においても民間事業者の協力が不可欠であると考え。

(6) 金融教育の導入を

現在、欧米では学生のうちから投資を学ばせている。また、国内においても投資を促しており、資本主義が進んだ今お金にお金を稼いでもらうという考えが醸成されつつある。投資における大きな失敗は取り返しのないことになるわけで、学生時代からそのリスク管理を学ぶ必要があると考え、要望する。

(7) 学校トイレの洋式化を

学校トイレの洋式化はある時を境に一向に進まなくなった。トイレは毎日使うものであり、これを洋式化することは子育て支援にもつながるものである。子どもたちからもトイレの洋式化・改修を求める声が上がっている。家庭のトイレで例えても何十年も使い続けることはありえない。早期に洋式化をすべきである。

(8) 学校校庭の除草を

以前は、各校の「オヤジの会」が中心となって校庭の除草をしていたが、コロナ禍ということもあり、活動ができなくなってしまっている。その結果、校庭に雑草が繁茂する状態となっており、ほとんどの学校の校庭は景観的にもよくない状態となっている。一時期活動ができなかったことから、一般の力（オヤジの会）での処理能力を超えており、一度予算化して綺麗なグラウンドに戻すべきだと考える。

未来像3 生涯を通じて学び、強度に愛着を持てるまち〔社会教育〕に関連して

(9) 自治会間の交流を

度々一般質問にも取り上げているが、自治会の力が年々低下傾向である。杉戸町自治基本条例の理念に基づけば、住民はまちづくりの主役であり、その集合体である自治会はその根幹をなすものであると考える。自治会は現在さまざまな悩みを抱えており、存亡の危機に立たされている。町は自治会について不干渉のスタンスをとっているが、自治会相互の交流や情報交換などを町として主体的に行うよう求める。

(10) エコスポいずみの活用を

泉地区のエコスポいずみは地域の核でありながら、十分活用がされているとは言えない状態である。また、施設も老朽化しており未だに雨漏りするなど修繕が必要な状態でもある。今後、泉公民館の廃止も予定しており、泉地域での役割を見直す必要があり、エコ・スポいずみを核とした地域づくりを検討する必要があると思われる。

(11) ボランティアの草刈り隊を

地域のために何かをしたいという人は少なからずいる。一方で、除草を求める声も多く、予算面などからも町はなかなかそのすべての対応に応じられていない。地域のために活動したいという人で草刈り隊を結成し、草刈りを願う体制をとれば、双方のニーズが一致する。この政策の実現を求める。

(12) 泉小の古代住居の大規模補修を

泉小のシンボルである復元古代住居は、古代住居保存会を中心に維持管理に努めている。しかし、建築から25年が経過し、老朽化が目立っており保存会による補修だけでは間に合わなくなりつつある。貴重な文化財を将来に残すためにも予算措置をしての大規模修繕が必要である。

(13) 特に生涯学習の分野において杉戸高校との連携強化を

町民大学の開校やそのオープン講座、昌平高校との歴史講座、そして杉戸農業高校との連携もおこない、町は高校との連携や生涯学習の機会の確保を図っているが、歴史というテーマが堅苦しくて敷居が高い、距離が遠くて参加できないなどの声がある。その点、県立杉戸高校は、町の中心部にあるということからももっと杉戸高校との連携を強化し、特に生涯教育の更なる機会の確保を要望する。

(14) 武道館の設置を(柔道、空手、剣道等)

一般質問にも取り上げられたが、町内には武道場がない。柔道団体だけでなく、さらにNPO 団体や様々な団体からも整備するよう要望も受けている。武道は日本人の魂とされており、幼少のころに礼儀作法を身に付けさせようという保護者の意向もある。これらは次の世代に受け継いでいかなければならないものであり、町内に武道場を整備すべきと考え、要望する。

(15) 郷土資料館の設置を(できれば新庁舎の中に)

郷土資料館がない自治体は近隣では当町だけである。郷土を知ること、ふるさとへの愛着を深めることができる。愛郷心が育てば、たとえ杉戸を離れたとしてもなんらかのかたちで杉戸の味方になってくれる人が増えてくることが想定できる。そのためにも郷土資料館の設置を求める。

さらに、多くの人が訪れることができれば、その効果も大きいと考えるので、できれば将来できる新庁舎内に設置することを望む。

(16) 東中学校の今後の活用について

東中学校と広島中学校が統合され、基本的には広島中の施設が使われることとなっている。当町には体育館がなくその建設には莫大な金額がかかることから、東中の体育館を改修しその体育館を一般に利用できるようにし、さらに校庭も整備して競技場のようにしてはどうだろうか。結果、多くの町民が集まるようになるのではないか。

未来像 4 自らの健康を守りながら安心して暮らせるまち [健康・福祉] に関連して

(17) 子どもの数を増やす取り組みを

杉戸町の合計特殊出生率は、直近の数字では1を切ったという事実が衝撃を与えた。町内には、来年100人規模の新しい保育園ができるが、このままでは需要に比べ供給が過多になる恐れがある。人口の取り合いとなっている現在、移住の促進も大事だが、町内の子どもの数を新生児を増やす政策を取るよう求める。

(18) 福祉タクシー券の使い勝手を良くして欲しい

障がい者を対象に福祉タクシー乗車券を支給しているが、現在の制度では、1乗車1枚のみの利用可となっている。そのため結果として福祉タクシー券を使い残してしまうという声が届いた。利用者にとって使い勝手が良くなるよう、改善を求める。

(19) ケアラー条例の制定を

先に町が行ったヤングケアラーの実態調査によると、中学生 40 人、高校生 40 人が自分はヤングケアラーであると答えたという調査結果があった。ヤングケアラーを含めたケアラーの問題点として、自分の置かれた状態を当然に思ってしまう、悩みを相談する相手がいないなどが挙げられる。将来のある若者がその問題を 1 人で抱え込まないようにするためにもケアラー条例を制定するよう要望する。

(20) 東埼玉総合病院駐車場の増設を

東埼玉総合病院の駐車場の不足が問題となっている。病院は幸手市に所在しているが、当町にも関係があることであり対策を取ることを求める。

(21) 中核病院の誘致を具体的に明らかに

町長公約となっている中核病院の誘致。候補地、費用やスケジュールなどが全く示されていない。「今が大事だ」と語る町長が公約として掲げられたわけで早期の事業化を求める。少なくとも候補地、スケジュールは一刻も早く示すべきである。なお、中核病院を望む声も一部あるが、現状で中核病院を誘致するよりも、診療所を整備する方が住民福祉の向上に寄与すると考えることを付記する。

(22) 健康マイレージの記念品のグレードアップを

健康増進のために 1 日 8000 歩歩くと効果があるとされる。その理論に基づくと、歩いてポイントが貯まる健康マイレージ事業は多くの町民が参加しており、町民の健康増進に寄与している政策だと思われる。しかし、景品に魅力がない、景品が当たらないなどの声を耳にすることも多い。県の事業だと承知しているが、更なる参加者増加のためにも景品のグレードアップをするよう求める。

(23) 町内全域にシニアサロンを

コロナの影響で高齢者が外出する機会が減り、高齢者の健康へ悪影響を与えている。また、シニアサロンが開設されている地区が多いものの、まだまだ町内全域に開設されているとは言えない。シニアサロンの裾野を広げて、健康なシニア・高齢者があふれる街にするよう要望する。

(24) 高齢者のゴミ出し問題の解決を

高齢者のゴミ出し問題は、少子高齢化が進む現在、大きな社会問題となりつつある。多くの自治体が行政として何らかの補助がある中、当町には町が主体となった補助がないことが明らかになった。高齢者のゴミ出し補助が早期に行われることを求める。

(25) 移動販売車への補助（買い物難民対策を）

かつて町内業者が泉地区などに移動販売を行っていたが、取りやめてしまった。また、泉地区にあったスーパーも閉店してからもう久しい。そのような状況下、昨年、移動販売車とくし丸が当町でも事業展開を始めたが、さらなる買い物難民対策をすすめ、また、さらに新規参入しやすい環境づくりをするよう求める。

(26) 新春マラソンの見直しを

新春マラソンは最長でも 10km となっており、コースや距離について検討を求めるご意見、また、時期としても 1 月末の開催時期を見直してほしいというご意見をいただいた。同時に、コロナ禍ではあるが、来年の開催を楽しみにしているという声もいただいた。

未来像 5 地域がつながり、安全で災害に強いまち〔防災・交通・防犯〕に関連して

(27) みんなでつくるまちづくり支援金

みんなでつくるまちづくり支援金は、制度創設時は多くの利用があったが、令和 3 年度ではコロナの影響があるとはいえ、たった 6 件の利用にとどまっている。この原因について、補助金を使いにくい、手続きが面倒、支給される金額の限度額が引き下げになることにあるという声が上がっている。現状をみても十分に活用されているとは言えないので、広く活用できるよう制度の改善を求める。

(28) 南地区の安全対策を

南地区は近年住宅地が数多く建設される一方、都市基盤が追いつかず、道路で車のすれ違いができない、防犯灯がなくて暗いなど危険な場所が点在している。南地区の安全を向上させるための施策を求める。

(29) 町道Ⅱ級2号線の制限速度の厳守を

倉松1丁目、2丁目の境界となる町道Ⅱ級2号線は生活道路として活用されている。制限速度が30kmとされているが、標識はあっても目立たないせいかなかなか守られていない。標識を目立つところに設置する、制限速度表示を路面に行う、または、グリーンベルトを引くなどの安全向上策をとるよう要望する。

(30) すぎとみちのこ保育園前交差点の安全向上策を

すぎと保育園前の交差点は、路面舗装などにより安全向上策がとられた。一定の効果はあると推察するが、しかし、それでも制限速度を守らない車が多く見受けられ、危険な交差点となっている。路面に速度表示するなどして、安全向上策をとるよう要求する。

(31) 反射鏡の設置を

堤根地区の町道1045号線は裏道となっており、交通量が多い。国道4号線の交差点部分は建物があり特に歩道の見通しが良くない状態となっている。反射鏡を設置し、安全向上策を取られたい。

(32) 防犯灯の設置を

内田3丁目11番は近ごろ宅地開発された地域である。防犯灯が通りになく、不審者の目撃情報もあり、治安が不安視されている。防犯灯の設置を求める。

(33) 大栄団地の雨水対策を

近年は対策の効果もあり、以前のように水が沸き上がることもなくなったが、大雨のときにいつ冠水するかわからない。大栄団地は高齢化率が高く、万が一のときに避難することが難しい地域でもあり、安全・安心な暮らしを送っていただくためにも対策を求める。

(34) 町道804号線のさらなる安全対策を

東武鉄道と平行して走る町道804号線は通学路であり、国道4号の抜け道として使われている。安全向上を求める地域の声は強く、過去に様々な安全向上策をとっていただき、感謝をしている。しかし、まだ十分とは言えないため、なお、一層の安全向上策をとっていただくことを要望する。

(35) 防犯カメラの設置を（特に西近隣公園）

現在においても、悲しいことに子どもをめぐる事件が絶えず起きている。防犯カメラを設置して、犯罪を未然に防ぐ、安心した生活環境を整えてほしい。できれば、多くの子どもが集う西近隣公園は小学校にも隣接しているので、集中的に付けてほしい。

(36) 防災士の更なる確保と育成を

町は各自主防災組織に1人以上の防災士の配置を目指している。資格取得のため試験料の補助もしているが、更なる対策、援助などするよう求める。そして、資格取得後も防災士同士の横の連携が取れてないよう見てとれるので、連携を取れるよう要望する。

(37) 各避難所マニュアルの早期作成を

災害はいつ起こるか分からない。だからこそその準備が必要である。非常時には避難所が各地に設置されることになるが、避難所ごとにその特徴があり、それを理解して避難所を運営する必要がある。そのためにも各避難所の運営マニュアルを早期に策定するよう要望する。

(38) ペット受け入れ可の避難所を

現在、ペットを飼う人が増えている。人によってペットは家族以上の存在であるという人もおり、避難所にペットを連れて行けないので避難所に行けないという人も多い。もちろんさまざまな理由でそれを嫌う人もいると思う。それらが共存するためにもなんらかの対策をとるよう求める。

(39) 空き家・空き地問題の解決を

現在、当町においても空き家の問題が顕在化している。空き家は治安、防犯という面から考慮してもマイナス要素である。これらの問題解決のため、隣地購入の際に税制優遇や解体・整地費用の補助をとることを求める。

未来像 6 魅力ある産業を育み、発信できるまち〔産業・情報発信〕に関連して

(40) 移住・定住促進事業の拡大を

子育て世帯の転入・定住促進事業は、昨年度事業化されたわけだが、その初年度に 81 件 2010 万円の支給を行い、103 人の社会人口増をもたらせたという成果が上がった。これを拡充することで、さらなる杉戸町への移住と定住が促進されるものと考えている。この事業のさらなる拡大を要望する。

(41) ふるさと納税

令和 3 年度決算審査によると、当該年度におけるふるさと納税の収支は、多額の赤字とれている。ふるさと納税制度は純粹にふるさとを支援するより、記念品目的の支援が多いという実情がある。我が町ではうなぎが人気の返礼品にあるというが、返礼品のさらなる見直しと拡充により、ふるさと納税による歳入を上げることがを要望する。

(42) 開かれた流灯工房を

流灯工房は多額の費用をかけて整備をしたものの、十分に活用されているとはいえない。消防法などの関係もあるというが、主に倉庫としての役割しか果たしておらず、税金の無駄遣いではないかという厳しい声も聞かれるところである。今後、更なる有効活用できるよう求める。

(43) アグリパークゆめすぎと

年間 100 万人以上の来場者がある我が町を代表するアグリパークゆめすぎと。しかし、近年は競合施設などが増え、その人気も埋没しつつある。賑わいを取り戻すために、若者の需要が見込めるオシャレなカフェを呼び込み、屋外の売店施設を改造することを要望する。また、見晴らしの丘の方には、グランピング施設の誘致をすることなどその魅力を向上させるよう求める。また、ドーム型では耐用年数が短いので、トレーラーハウスの設置した方がいいと申し添える。

また、温室はさらなる有効活用策として、町民のライブ、子犬や子猫などの譲渡会などに利用するべく町民からの声をいただいた。

(44) オートキャンプ場、グランピング施設の設置（民間誘致含む）

アグリパークゆめすぎとにグランピングの創設を検討しているというが、これも町営や指定管理会社の事業としてはノウハウもなく、それらが主体となった事業展開には限界がある。民間の知恵を活かして、民間誘致なども含めて検討するよう要望する。

(45) 官民協力のもと、広域的な観光事業の推進(東武動物公園駅周辺、東武動物公園、うたの湯、アグリパーク等)

当町には、豊かな観光資源があるものの、それを十分に活用できていないように見受けられる。また、杉戸町だけで観光事業を行うのは限界があり、相乗効果を生むためにも杉戸町・宮代町両役場、東武動物公園、雅楽の湯、アグリパーク等の運営会社が参加する広域的な協議会の設置を望む。

未来像 7 機能的で自然と調和した快適なまち [都市基盤・環境] に関連して

(46) 杉戸高野台駅西口自転車駐輪場を時間貸駐車場に

杉戸高野台西口駅前には、郵便局、銀行、保育園、コンビニ、そして商店街があるが、駐車場が十分に確保されていないため、ロータリーに駐車することが多い。一方、杉戸高野台駅西口自転車駐輪場は人口減などの理由により、利用者の数が微減となっており、空きスペースが目立つようになっている。そこで、自転車駐輪場を時間貸の駐車場に作り替えることで、町有地の有効活用かつ駅前ロータリーの安全向上に寄与するものとする。

(47) 大膳堀ポケットパーク(杉戸小学校隣接地)の管理を

大膳堀の杉小に隣接する地域では親水公園のように整備されていて、特に犬の散歩をする人や、シニア世代の休憩場所などで利用されており、ポケットパークのような憩いの場となっている。しかし、維持管理が適切にされていないため草木が繁茂し、さらに虫が発生して憩いの場としての機能が果たすことができてない。適切な管理をするよう要望する。

(48) 南側用水(堤根地内－高野台地区)の整備を

町の長年の懸案となっている南側用水だが、なかなか目に上がる成果があげられていない。本年、特に下野地内からヘドロなどが溜まり悪臭がするという苦情が寄せられている。同じような苦情が堤根地区からも寄せられている。決算審議では事後的な対応が目立ったようなので、計画的な整備を今後行うことを要望する。

(49) 町道 240 号線一部道路舗装を

中央幼稚園前の道路、町道 240 号線は部分的に舗装がされていない。中央幼稚園に面している道路で、通園や登園で日常的に使われる道路であり、園児の安全などを考慮して、早期に舗装することを求める。

(50) 障がい者支援施設「庄内」から県道 387 号線までの路面工事を

障がい者支援施設「庄内」前の路面は、車の往来により路面が陥没してしまっている。入所者は日中散歩をしており、道路上の穴は大変危険である。社会的弱者である障がい者の安全を確保するためにも路面を舗装し直しを求める。

(51) 町道Ⅱ級 1 号線の改良工事を

町道Ⅰ級 5 号線と町道Ⅱ級 1 号線との交差点付近は植栽が一部整備されたものの、幅員が狭く一部で相互通行できない区間がある。抜け道としても使われて交通量が多い路線であり、早急な整備が求められる。

(52) 東埼玉総合病院アクセス道路へ標識を

町道Ⅰ級 5 号線から東埼玉総合病院のアクセス道路が整備されたが、道案内（標識）がないせいか、有効活用されていない。実際、遠回りをしたという声や道に迷うという声をたびたび聞く。せっかく整備した道路で有効活用するためにも案内板の設置を求める。

(53) フットサルコート・スケートボードエリアの駐車場整備を

フットサルコートは照明の設備が完成し、ナイターの利用が容易になった。また、近くのスケートボード場も人気の施設となっている。しかし、駐車場が十分に確保されておらず、頻繁に路上駐車が行われ危険な状態となっている。地元からも駐車場の整備が求められている。このようなことからこれらの施設の駐車場整備を求める。

(54) 再生可能エネルギーの推進（庁内 LED 化、屋上太陽光発電、補助事業の拡大等）を

現在、太陽光発電設置に対する補助や電気自動車購入に対する補助を行っているが、予算が足りずに年度途中で受付終了となっている。これらの補助金の拡大を求めるとともに、庁舎内・学校を含めた各公共施設の照明はいまだ LED 化されていない。蛍光灯も製造を中止し、販売業者の在庫のみとなったことから、蛍光灯も近い将来生産終了することも予想される。混乱することがないように LED 化を実施するよう要望する。

(55) 電動機付自転車購入に対する補助を

温室効果ガスなどの環境の面を考慮して、再生可能エネルギーの利用促進に対し補助制度をとる自治体も多い。我が町でも太陽光発電設置や電気自動車購入に対して補助金を支給している。更なる補助策として、電動機付自転車に対する補助金を創設することを求める。

未来像 8 信頼される行政運営を推進するまち〔行財政運営〕に関連して

(56) 公共システム予約システムの改善を

現在の公共施設予約システムは、町内、町外問わず一斉、同時の受付開始となっている。つまり、町内の施設であるものの、町内在住者が優遇されないシステムとなっていて、町内の団体からは、定期的に施設を利用できない、新しいスクールを開講できないなどの不満の声も多く聞かれる。町内の人が優先して予約できるようになるよう改善を求める。

その他としていただいた声を追記いたします。

- ・ 生活保護世帯の生活費の引き上げを
- ・ 特養老人ホームの更なる建設を
- ・ 新しい村のような魅力のある施設を
- ・ 防災無線が聞こえにくい
- ・ 防災ラジオの配布を